2026年11月13日

各　　位

東京都中野区本町一丁目32番2号
会社名　アクセルマーク株式会社
代表者名　代表取締役社長　坂　達典
（コード番号：3624　東証グロース）
問合せ先　取締役管理本部長　横谷　玲音
（TEL 03-5354-3351）

連結決算における営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2026年9月期第4四半期会計期間（2026年7月1日から2026年9月30日まで）の連結決算において、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．営業外費用の計上

（1）内容及び金額

項目	内容	金額
新株発行費	2026年5月29日付で公表した、第三者割当による新株式の発行に伴い発生した発行諸費用（なお、2026年9月期の連結決算における新株発行費は、第3四半期連結累計期間までに計上した5百万円と合わせて31百万円であります。）	26百万円

2．特別損失の計上

（1）減損損失の内容及び金額

資産	内容	金額
当社トレーディングカード事業の実店舗に係る固定資産	「cardéria 池袋店」（東京都豊島区）の建物附属設備、工具、器具及び備品等（帳簿価額の全額）	15百万円
連結子会社株式会社 crafty に係るのれん	2025年2月5日の同社全株式の取得に伴い計上したのれん（未償却残高の全額）	31百万円
合計		46百万円

（２）減損損失を計上する理由

①　当社トレーディングカード事業の実店舗に係る固定資産

2026 年７月以降、トレーディングカードの相場は、主要タイトルであるポケモンカードゲーム及び ONE PIECE カードゲームの大半の商品に下落が広がり、市場全体として本格的な下落局面に転じ、10 月に入っても下落が続いております。相場は投機的な需給に左右されて短期間に大きく変動し、下落がいつ、どの水準で止まるのかを見通すことは困難であります。当該相場の下落を受けて、当社のトレーディングカード事業の実店舗「cardéria 池袋店」（2025 年３月開店）における売買単価及び売上高は顕著に低下し、同店舗は営業損失を計上する状況が続いており、現在の商品構成及び在庫の水準のままでは収益性が回復する見通しは立っておりません。このため、当社は、同店舗に係る固定資産について投資額の回収が見込めなくなったと判断し、帳簿価額の全額（15 百万円）を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

②　連結子会社株式会社 crafty に係るのれん

当社の完全子会社である株式会社 crafty（EC オリパサービス「アイリストレカ」を運営。以下「crafty 社」といいます。）は、2025 年２月５日付で当社が全株式を取得して連結子会社となり、当社は、取得時に見込んだ超過収益力をのれんとして計上し、償却を行ってまいりました。しかしながら、上記①と同様のトレーディングカード相場の下落を受けて crafty 社の売上高及び収益性も大きく低下しており、オリパを巡る規制・自主規制の強化や決済手段の制限等の動向も踏まえると、同社の収益性が早期に回復する見通しは立たず、取得時に見込んだ超過収益力はもはや見込めないと判断いたしました。このため、のれんの未償却残高の全額（31 百万円）を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

（３）商品評価損の計上

自社ブランド「≒4.7」に係る化粧品等の棚卸資産について、2026 年９月 30 日付「棚卸資産の廃棄処分に伴う特別損失の計上及び追加的な損失の発生可能性に関するお知らせ」に記載のとおり、廃棄処分により処理することとしたことに伴い、商品評価損 12 百万円を特別損失として計上いたしました。

（４）貸倒引当金繰入額の計上

当社の連結子会社であるアクセルメディカ株式会社が保有する貸付金（3 百万円）について、2026 年９月 17 日付「連結子会社における債権の取立不能のおそれに関するお知らせ」に記載のとおり、取立不能のおそれが生じたことから、その全額について貸倒引当金繰入額３百万円を特別損失として計上いたしました。なお、2026 年９月期の連結決算において計上した貸倒引当金繰入額は、第２四半期連結会計期間に計上した 94 百万円（2026 年５月 14 日公表の「2026 年９月期 第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載）と合わせて 97 百万円であります。

３．繰延税金資産の取崩し

（１）内容及び金額

会社	内容	金額
連結子会社株式会社 crafty	繰延税金資産の全額の取崩し（取崩額）	29 百万円

（２）取崩しの理由

crafty 社においては、上記２.（２）②に記載のとおり収益性が大きく低下し、当面の間、課税所得の発生が見込めない状況にあることから、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が計上していた繰延税金資産の全額（29 百万円）を取り崩すこととといたしました（なお、2026 年９月期の連結損益計算書に計上した法人税等調整額は、期中における繰延税金資産の増減を含め 11 百万円であります。）。

４．業績に与える影響

本件により、2026 年９月期の連結決算において、新株発行費 26 百万円を営業外費用に、減損損失 46 百万円、商品評価損 12 百万円及び貸倒引当金繰入額３百万円を特別損失にそれぞれ計上するとともに、繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額を計上しております。これらは、本日公表の「2026 年９月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。なお、2026 年９月期の連結業績予想値と実績値との差異につきましては、本日公表の「2026 年９月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

個別決算においては、上記１.の新株発行費 26 百万円を営業外費用に計上するとともに、上記２.（１）に記載の当社トレーディングカード事業の実店舗に係る固定資産の減損損失 15 百万円及び上記２.（３）の商品評価損 12 百万円のほか、関係会社株式評価損 118 百万円及び貸倒引当金繰入額 60 百万円を特別損失に計上しております（詳細は、本日公表の「個別決算における営業外費用、特別損失の計上及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。）。

当社グループは、トレーディングカード相場の下落が 10 月以降も続く中で営業損失の計上が継続しており、本日公表の 2027 年 12 月期（2026 年 10 月１日から 2027 年 12 月 31 日までの 15 か月間）の連結業績予想においても、営業損失 613 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 634 百万円を見込んでおります。

以上

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞
アクセルマーク株式会社 経営管理部
メール：ir@axelmark.co.jp